

奈良県教育委員会主催の研修会でブース出展

～「そんぽ」による防災・リスク教育プログラムのご紹介～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員 関西地区担当）では、7 月 31 日（木）に奈良県産業会館で開催された、人がつながる「地域と共にある学校づくり」研修会のメニューフェアでブース出展しました。

当日は、幼稚園・保育園、小中高の教職員や地域ボランティア等が多数来場し、「ならの教育応援隊（奈良県内の学校・園の教育活動の一層の充実のために、子どもたちに出前授業や見学等を提供する団体や企業）」に登録している 39 の団体・企業がブース出展し、各種教育メニューの紹介を実施しました。

当支部では、リスク教育の取り組みとして、「ぼうさい探検隊」や「ぼうさいダック」についてチラシやカードを用いて実践例や活用方法を紹介するとともに、金融経済教育、社会保障教育、民間保険教育を学ぶにあたり、「明るい未来へTRY!」の内容について冊子で紹介すると共に、講師派遣についてもPRを実施しました。

来場者は、教職員をはじめとする教育関係者ということもあり、当協会が提供するメニューへの関心は高く、質疑応答を含め熱心に耳を傾けていただきました。

当支部では、今後も「ぼうさい探検隊」や「ぼうさいダック」等の防災啓発やリスク教育プログラムの普及促進に向けた取り組みに加えて、損害保険リテラシーの向上に取り組んでいきます。

（ご参考）当協会の防災教育支援ツールのご紹介

<https://www.sonpo.or.jp/report/publish/education/0013.html>

当協会の金融リテラシー教材のご紹介

<https://www.sonpo.or.jp/report/publish/education/0014.html>



来場者への説明の様子